

# 未来ファンドおうみ通信

NO.10

2017年12月1日発行  
淡海ネットワークセンター

<http://www.ohmi-net.com/>

## 2017年度未来ファンドおうみ 「助成先団体セミナー&相談会&交流会」を 開催しました

2017年10月21日（土）13:30からピアザ淡海（県民交流センター：203会議室）において、2017年度未来ファンドおうみ「助成先団体セミナー&相談会&交流会」を開催しました。

この「セミナー&相談会&交流会」は、助成先団体の事業実施や組織運営についての悩みを共有し、解決方法を検討するとともに、団体間の交流を深めることを目的として開催しました。講師は、社会性志向ビジネス（ソーシャルビジネス）の経営支援が専門のOffice SPES 代表秋葉芳江さんです。各団体からは、事前に「団体紹介シート」「中間報告シート」「相談してみたいこと、聞いてみたいことシート」を提出いただきました。



当日の前半は、各団体から事業の現状と悩みや相談したいことを発表いただき、講師から団体ごとに具体的なアドバイスがありました。後半は、ショートレクチャーでした。「ステークホルダーマッピング」と「事業の要素チェック」をワークで学びました。それをもとに、自団体の事業ポジションを確認し、財務状況のチェックと活動領域のチェックをしました。前半の発表とアドバイスを、後半は

論理的に自分たちの頭の中で整理する良い機会となりました。

「いいことをやって

いるのになぜ支援がうけられないの？」という疑問から、やがて「共感されるから支援が受けられる」という発想へ転換することが大切だと繰り返し語られました。そのためには、「どうしたら共感されるのか」「共益から一歩踏み出し、どうしたら公益（社会的）事業となっていくのか」について考えました。

交流会は、淡海ネットワークセンターのふらっとルームへ場所を移しました。夕暮れの琵琶湖をながめながら、滋賀のお菓子と飲み物をいただき、交流を深めました。

※当日は、寄付者の方もお越しいただき、話し合いにご参加くださいました。

※団体から提出されました「団体紹介シート」「中間報告シート」「相談してみたいこと、聞いてみたいことシート」に対する未来ファンドおうみ運営委員会からのアドバイスとコメントは、文書で団体にお渡しいたしました。



## 2017 助成先団体の活動

### 湖国文学活動応援むらさき基金助成 近江八幡市郷土史会

採択事業は「近江八幡市内の神社を網羅した歴史記録書籍発刊のための調査事業」です。

昨年度に引き続き、近江八幡市内の神社の聞き取りと調査を毎月1～2回行っています。1回の調査には、8人ほどが参加します。そこで聞いたり調べたことをもとに、各神社の名称、場所、祭神、氏子の実情、由緒、伝承、周辺地域の歴史などを原稿におこし、会議で打ち合わせと読み合わせをし、修正します。このようにして、丁寧に進められた調査作業を終え、現在取りまとめ作業に入っています。11月上旬の役員会後には、印刷業者さんへの説明会を実施しました。



さらに、地域住民向けに石橋正嗣氏講演会「安土城下町の神社Ⅰ」「安土城下町の神社Ⅱ」を開催し、近江八幡の神社の歴史と実態を多くの人に知っていただく活動もおこなっています。

### げんさん食育NPO基金助成 こころ はなまる

発達障がいの子どもの親を対象に、農業体験と収穫した野菜を加工販売する事業をおこなっています。

会員所有の畑を活用し、地域の方に教わりながらサツマイモを栽培します。収穫したサツマイモは、加工して子育てまたは福祉イベントで販売します。



5月28日にサツマイモの苗植えをおこないました。地域の人に教わりながら小さな耕運機（豆トラ）で畑を耕し、畝を作ってサツマイモの苗を植えました。

サツマイモは、夏の暑さにも負けず、順調に成長しました。

10月下旬のお天気のいい日にサツマイモを収穫しました。スコップで掘り起こすと、長いイモ、太いイモ、細いイモ、丸いイモなど様々な形のイモがありました。

収穫したサツマイモは、大学芋として調理し、12月2日の福祉イベント「子育てフェスタ」で販売する予定です。

## 2017 助成先団体の活動

びわこ市民活動応援基金助成

### 夢・びわ湖

採択事業は「琵琶湖の閉鎖性水域である赤野井湾で淡水真珠の復活を」です。

赤野井湾に垂下したイケチョウガイに真珠が出来るまで、垂下地点の水質調査、環境調査やイケチョウガイ成長過程の調査、観察、貝の洗浄等を実施しています。この事業には、守山市内の真珠養殖者のご指導もあります。

毎月、赤野井第1駐車場で定例の湖岸清掃活動と環境調査をおこなっています。さらに、年4回、船で赤野井湾に出ていきます。その時は、イケチョウガイの洗浄や観察、水質調査などをおこないます。

来年度予定していた真珠貝のオーナー制度を、前倒しで今年度募集しましたが、残念ながら応募がありませんでした。そこで、募集のタイトルや時期や内容をもう一度話し合っ、来年度の実施につなげていく予定をしています。



ナカザワNEOフレンドシップ基金助成

### 彦根にほんご教師会

採択事業は「専門性をもつ教師による子どもにほんご教室 in 彦根」です。



月3回、土曜日に「子ども日本語教室 JUMP」を運営しています。「外国につながりのある」子どもに対して、会員の教師が日本語や教科を指導しています。今年度は、就学前から高校受験を終えた生徒まで、幅広い年齢の子どもが参加し、人数も年々増えています。

また、月1回（第2土曜日）の日本語指導者研修は、会員相互や外部講師を招聘して、指導法研修や教科指導の向上を図っています。市外からの参加者も増え、外部との連携ができつつあります。

さらに、彦根市内の学校・園への指導出張をおこなうとともに、日本語能力レベル調査にも取り組んでいます。

---

## 2018年度助成事業の 募集が始まりました！

---

応募受付期間  
2017年11月21日～2018年1月16日  
(1月16日(火)17時 必着)  
※期間外の応募は受け付けておりませんので  
ご注意ください。  
詳細は、淡海ネットワークセンターのホーム  
ページをご覧ください。  
<http://www.ohmi-net.com/article/15822126.html>

---

## 新しい基金が誕生しました！

---

### 「びわ湖源流の木遣い応援 もえぎ基金」

詳細は、淡海ネットワークセンターのホーム  
ページをご覧ください。  
<http://onc.shiga-saku.net/e1378607.html>

---

## 12月は寄付月間です

---

寄付月間初年度の2015年、小泉進次郎議員の呼びかけなどから共感の輪が広がり、ビルゲイツ氏やサッカー日本代表の香川真司選手、古田敦也さんなどもイベントや広報に協力しました。

現在は、寄付月間に賛同する法人等が397になり、全国的なキャンペーンとして広がっています。淡海ネットワークセンターも賛同しています。11月18日に河合将生氏を迎えてセミナーを開催しました。

---

## 理解を深めましょう 寄付にかかわるカタカナ用語

---

### ファンドレイジング (Fundraising)

NPO(民間の非営利活動団体)が活動するうえで必要となる資金を集めることです。NPO活動の本質は、団体が単独で社会問題の解決に取り組むことではなく、活動を通じて社会的な課題を人々に知らせ、みんなで力を合わせて社会をより良くしていくことです。資金を募る過程で、団体と人々がつながり、共感の輪が広がって寄付やボランティアなどの支援者が増える、あるいはくらしや他人への配慮を心がけることによって、社会を、そして未来をより良いものにするにつながります。

### クラウドファンディング (Crowdfunding)

不特定多数の人が、通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことです。群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語です。クラウドファンディングは資金提供者に対するリターン(見返り)の形態によって次の3類型に大別されます。

- ◇寄付型…金銭的リターンなし
- ◇投資型…金銭的リターンあり
- ◇購入型…プロジェクト実施者から物品等の提供あり

---

## お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)  
〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20(ピアザ淡海2F)  
TEL: 077-524-8440、FAX: 077-524-8442、e-mail: office@ohmi-net.com